

くまにちSDGsアクションプロジェクト

「くまにちSDGsアクションプロジェクト」は、熊本、日本、世界の明日を良くしていくためのプロジェクトです。この連載では、暮らしやすい社会づくりに励む身近な人々の姿をお伝えします。

SDGsな暮らし



「オモケンパーク」(中央区)で11月8日に開催された「ウーマンズカフェ」の様子。右がKCW共同代表の清水さん

VOL.8 ウーマンズカフェ 熊本子ども・女性支援ネット

SDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のために、どのような取り組みが必要でしょうか。熊本子ども・女性支援ネット(KC W)熊本本部は2016年に設立された民間団体。子どもと女性の権利を保障できる社会を目指してさまざまな活動をしていきます。今年9月からは、リラックスした雰囲気の中、女性一人一人の悩みと話を聞く「ウーマンズカフェ」というユニバーサルデザインに取組んでいます。

安心できる場所づくり

11月10日、KCWによるイベント「ウーマンズカフェ」が自由支援施設「Oo(オオ)ホール」(熊本市西区)で開催されました。会場には、自分と話をできる「ジョイント」のフロアマットを使ったハンドトリートメントを受けられるブース。自分の心情や大切なことを整理する「ワークシッパ」などのブースが設けられ、スタッフらが訪れた女性に寄り添ったサポートを行いました。イベントは熊本市の女性のつながりサポート事業の「Oo」KC Wが運営し、9月から始まりました。この日は9回目。来月2月までは、計24回の開催を予定。同施設の他、「モモケンパーク」(中央区)、ツツシモツツシ(上里区)、東区(区民センター)、キッズホール(南区)でも開催になっています。4会場とも1回のペースで開催中。熊本市在住の同市に通勤・通学している10代以上の女性が対象です。

TOPIC!

県人権月間(11月10日～12月10日) 最終日は人権フェスティバル

熊本県は11月10日から12月10日までの1カ月間を「人権月間」と位置付けています。期間中は県内各地で人権啓発に関するさまざまなイベントを開催。最終日の12月10日(日)は14時から、熊本城ホールシビックホール、SAKURA MACHI Kumamoto エントランスの2会場で「人権フェスティバル」を開きます。ドラマや映画、パルエティなど活躍中の最上もがさんの講演をはじめ、人権を身近に感じてもらうプログラムを予定。入場無料ですが、事前の申し込みが必要です。申し込み締め切りは11月26日(日)。詳しくは「熊本県人権月間」で検索してホームページで確認してください。



みつめる、みとめる
—みんなを導く道、みんなを繋ぐ道—
2023.11.10-12.10 熊本県人権月間

※この記事には、多くの人に読みやすいように工夫された文字「ユニバーサルデザインフォント」を使用しています

一人一人と語り合い 女性を支援

KCWが実施している 子育てに関する女性の 実態調査のためのアンケート

対象:10代以上の女性 (熊本県内)

在住の女性を対象にアンケートを取ったり、身近で感じる女性の話を聞くオンライン方式の無料相談サービス「ウーマンズ・トーク」を開いたりもしています。女性が不安や悩みを気軽に話せる場、人や地域を超え、つながりやすい。職場や家庭以外の自分自身に映れる場を、より、さまざまな女性たちの声を聞くことは、ジェンダー平等につながるはずと、共同代表の園田取子さんは話します。

最初の一步・支援

ウーマンズカフェに参加した40代の女性は、口頭でもやした気持ちを持っていて、自分に対して不満を持っているのを、はっきりと表現したいと参加しました。話を聞いたリウ・ジョシキを体験したり、気持ちよく40代の女性は、自分の内面と向き合う瞬間をゆっくり取ることでできた、と種々な表情で話してくれました。

ポイント

日本のジェンダーギャップ指数過去最低

世界経済フォーラム「世界経済フォーラム」の「ジェンダー平等指数」で、世界156カ国中、日本は146位と過去最低の順位を記録しています。KCWの活動は、当事者に寄りかかると、日本のジェンダーギャップ指数を14.4%から20%に引き上げ、一人一人の声を聞くことは、SDGsの目標5「ジェンダー平等を達成しよう」の達成に大きく貢献しています。

熊本大学大学院 教育学研究科 教授 宮瀬 美津子さん
NPO法人くまにち未来ネット理事



17のゴールにちなみ毎月17日掲載(全12回)